

学びの



クローズロード



福生市公民館（本館） 福生市福生 2455 番地 ※市民会館併設

（公民館公民館係 福生市牛浜 163 番地（さくら会館内）） ☎042-552-2118 / Fax 042-552-2228



公民館本館主催講座のお知らせ



安心して老後を迎えるための準備講座

人生100年時代と言われますが、この先、自分で物事の判断や意志決定ができなくなる時がくるかもしれません。老後を安心して迎えるための準備として、遺言状の書き方や成年後見制度の役割、また相談者への具体的な対応や支援などについて、専門家から事例を通してお話を伺います。

日時

令和4年2月6日・13日・20日の
日曜日、午後2時～4時（全3回）

場所

さくら会館ホール
市内在住・在勤・在学の方

対象

先着20人
第1回：畑野隆二氏（上野公証役場
公証人）

定員

第2回：萬沢明氏（社会保険労務士）
福生市社会福祉課職員、
成年後見センター職員

講師

第3回：萬沢明氏（社会保険労務士）
令和4年1月8日（土）から

申込み

令和4年1月8日（土）から



防災講座 災害に役立つ知恵と技

災害はいつでもどこで起こるかわかりません。コロナ禍を踏まえた避難時のポイントや、効果的な土のうの使い方など、家や家族を守るためのスキルを学びます。

日時

令和4年1月15日・29日・2月12日の
土曜日、午後1時～2時30分（全3回）

場所

市民会館・公民館 第4・5集会室
市内在住・在勤・在学の方

対象

先着15人

定員

日本防災士会東京都支部多摩ブロック
第1回：板野孝幸氏
第2・3回：橋本茂氏

講師

令和3年12月19日（日）から



（共通）講座のお申込・お問い合わせ

午前9時から午後5時までの間に、直接または
電話で公民館公民館係（電話 552-2118）へ

※月曜休館日



地域歴史講座 「福生むかし語り～牛浜暮らし編～」 が開催されました！

昨年度、福生市は市制施行 50 周年を迎えました。時代と共に大きな変化を重ね続け、現在の福生の姿になっています。その変化の中で、長年福生で暮らし、地域を支えてこられた方の記憶から福生の歴史についてお話を伺いました。今回は、中村さんが体験してきた牛浜地域の暮らしについて、幼少期からの記憶をたどりながら、お話しいただきました。

実施日：10月31日（日）

講師紹介

なかむら こういち
中村 幸一さん

福生市で生まれ育ち、長年まちの変化を見てきました。公民館サークルに所属し、様々な行事に参加しています。



五日市街道より熊川側を「熊川牛浜」、福生側を「福生牛浜」と呼んでいたそうです。現在、市民会館が建っている場所には、西多摩自治会館という建物がありました。そこでは、成人式や文化祭等が行われていたそうです。



中村さんの家庭は農家で、数か所に畑を持っていたそうです。その1つが市民会館の近くにありました。子どもの頃、畑仕事を手伝うために五日市街道を歩いてその畑に行きました。市民会館周辺は雑木林でした。雑木林の中には、リヤカーが通ることができる程の小道があったそうです。



中村さんが子どもの頃は、牛浜駅周辺にはあまり建物がなかったそうです。桑畑のなかに、牛浜駅がポツンと建っているだけでした。昭和 23 年頃から民家が徐々に建てられ、4、5年経つと、商店も増えていったそうです。

生産農業	
畑	大麦、陸稲、粟、稗、かぶ、さつまいも、じゃがいも、大根、桑、野菜など、栗、柿、梅
田んぼ	米
屋敷垣根	栗、柿、梅、茶
山林 雑木林	落葉集め
家畜	牛、馬、豚、鶏、チャボ、うさぎ、やぎ



自分たちが食べるものは、自分たちで作っていました。農家の家は敷地が非常に広く、家畜を飼っている家もありました。牛浜地域では、数軒の家で牛を飼っており、中村さんの家でも牛を育てていました。多い時では 13 頭の牛を育て、牛乳を売っていたそうです。

参加者の声

- 懐かしい話をありがとうございました。私も牛浜で育ちました。父親が耕していた畑に、リヤカーを押して手伝いに行っていたことを思い出しました。
- 私は毎日ウォーキングをしています。「そうか、ここが中村さんの説明していた田んぼなのか」といろいろな事を思い出しながら、ウォーキングを楽しみたいと思います。
- 牛浜駅ははじめ、枕木を積んだ停車場でした。そこから、駅が開設されました。
- 市民会館の前身である西多摩自治会館の時に、文化祭に参加しました。
- 私は福生生まれではないので、いろいろと知らないのですが、福生の歴史について知りたかったです。
- お話にあった西多摩自治会館ですが、今の形ではないレンガの自治会館が記憶に残っていました。



秋の講座の報告

コロナ禍における子ども・学生の
貧困実態を探る

実施日：10月30日（土）

講師：小河口治氏（公益財団法人
あすのば 代表理事）

コロナ禍の影響をうける子ども・学生に視点を当てて、貧困の現状、課題支援などについてお話を伺いました。



●参加者の声

たくさんの方の困っている人の実態が、先生の話から見えてきました。困っている人が声を上げて、支えてもらえることや、支援団体があること、その存在を知ってもらうことも大事だと思いました。

今回の講座には、若い学生さんから、保護者世代、シニア世代、民生委員の方など、幅広い方々が参加されていたので、もっとお話を聞きたかったと思いました。

福生の実態についても、さらに学び、自分事として何が出来るのかを改めて考えさせられる講座でした。

アンサンブルコンサート

実施日：10月24日（日）

出演：福生吹奏楽団

曲目ごとに、楽器の編成をかえて演奏する1時間ほどのアンサンブルコンサートを開催しました。アニメや映画音楽、そして童謡まで、なじみのある曲が多く演奏されました。曲間には、楽器紹介として、トロンボーンについての豆知識も披露されました。

●参加者の声

楽器による音色の違いがよくわかりました。久しぶりに生の演奏を聴く機会があり、とても楽しかったです。



みなさんの寄稿文を募集
しています！

日ごろ地域で活動していることや、最近体験したことなどを紹介してませんか。

あなたの寄稿文をきっかけに、誰かのサークル活動の参考になったり、より幅広い地域活動へとつながるかもしれません。お寄せいただいた寄稿文は、各館で公開いたします。様式は問いませんので、自由にお書きください。

寄稿文については、各館窓口で随時受付しております。

編集後記

早いもので、コロナ禍での生活も2年がたとうとしています。公民館本館では、感染症対策を行いながら、従来の講座はもちろん、今回取り上げた「地域歴史講座」や「アンサンブルコンサート」など、新しい事業にも挑戦しました。いずれも多くの参加をいただき、嬉しい限りです。

今年度も残り3ヶ月弱ですが、絶えず学習の機会を提供していきたいと思っております。皆様のご参加をお待ちするとともに、お会いできる日を楽しみにしております。

編集・発行

公民館本館（市民会館併設）
福生市福生 2455 番地

☎ 552-2118

